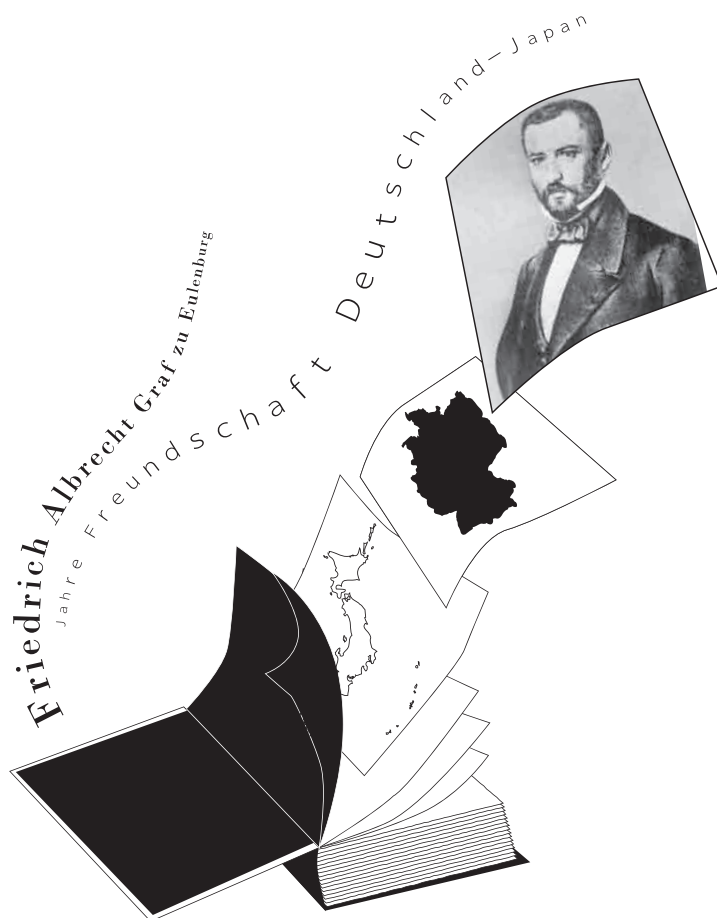




日独交流150周年
Jahre Freundschaft
Deutschland-Japan



日独交流 150 周年記念企画展

プロイセン・ドイツが観た幕末日本

1860・61年のオイレンブルク遠征団が残した版画、素描、写真

2011年4月5日(火)～5月1日(日)

奈良県立図書情報館 2階メインエントランスホール



奈良県立図書情報館
Nara Prefectural Library &
Information Center



主催：奈良県立図書情報館、OAGドイツ東洋文化研究協会
後援：ドイツ連邦共和国大使館

プロイセン - ドイツが観た幕末日本

1860・61年のオイレンブルク遠征団が残した版画、素描、写真

1860年9月、オイレンブルク伯爵の率いるプロイセンの東亜遠征団が日本に到着し、1861年1月プロイセンおよびドイツ関税同盟と日本との間に通商関係および友好協力を開始するために初めての修好条約の締結に至りました。彼らは学術調査団としての役割も担っており、日本滞在中に数多くの貴重な写真、版画、スケッチを残しました。今回散逸していた写真をまとめ、歴史的背景の説明を加え、外国人の捉えた19世紀末の日本の姿、およびドイツにおける日本観の変遷を紹介します。

記念講演会

日時：2011年4月24日（日）
14:00～16:00

演題：150年前のプロシア・
ドイツ使節団が観た日本

講師：サーラ・スヴェン氏
(上智大学准教授)

※日本語での講演です。

会場：奈良県立図書情報館
1階交流ホール

定員：200名

申込み等：無料・申込み不要
(当日会場にお越しください。)

講師プロフィール：

上智大学国際教養学部准教授（日本近現代史）。

1968年ドイツ生まれ。マインツ大学、ケルン大学、ボン大学で歴史学、政治学を学び、計4年間金沢大学で留学を経て、1999年ボン大学文学部日本研究科博士号取得。

マールブルグ大学日本研究センター講師、ドイツ - 日本研究所人文科学研究部部長、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部准教授を経て、2008年10月より現職。

主著には『大正デモクラシーと陸軍』（独文、1999年）、『Politics, Memory and Public Opinion（日本における歴史記憶、歴史認識と政治）』（英文、2005年）、共編著に『近現代日本史に於けるアジア主義』（英文、2007年）、『明治初期の日本 - ドイツ外交官アイゼンデッヒャー公使の写真帖より』（和独文、2007年）、『近現代日本における歴史記憶の諸相』（英文、2008年）など、論文多数がある。



OAG ドイツ東洋文化研究協会
〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56
Tel: 03-3582-7743 Fax: 03-5572-6269

奈良県立図書情報館

お問い合わせ
奈良県立図書情報館 〒630-8135 奈良市大安寺西1丁目1000番地
Tel. 0742-34-2111 (代表) <http://www.library.pref.nara.jp>

